

令和6年度中野市学校給食センター運営委員会（臨時会）会議録 要旨

開催日時 令和7年2月4日（火） 午後3時30分

開催場所 中野市南部学校給食センター 2階会議室

出席者

（委員）

村島康秋委員、神田久仁玲委員、小林みどり委員、小林裕美委員、
塩崎陽子委員、小山正博委員、田中五月委員、

（事務局 市教育委員会）

柴本豊教育長、柴本清天教育次長、大沢英樹所長、田中幸子副主幹、高藤施設係長、
田澤悦子栄養教諭、宮澤比呂子栄養教諭、

欠席者

（委員）

竹節幸子委員、小池留美子委員、野口央梨恵委員、嶋田茜委員、古田忍委員

会議内容

- 1 開 会 柴本教育次長
資格審査報告 委員12名中、出席者7名
(運営委員会条例第5条第2項の規定により、出席委員が過半数を上回っているため、運営委員会が成立)

- 2 あいさつ 柴本教育長

- 3 会議事項

(1)中野市学校給食センターの新設統合について

所長が資料に基づいて説明を行った。

○質疑・ご意見

委 員： 北部給食センターの解体と書いてあるが、南部は解体をしないのか。

事務局： 南部については検討中である。修繕が必要ではあるが、給食センターとして使用しないのであれば、十分使用できると考えている。

会 長： センターの新設についての質問ではないが、給食費の無償化も市長の公約の中にあるのですが、その辺の無償化はいつくらいから始まるのか

教えてもらいたい。

事務局：学校給食費の無償化については「(2)その他」でご案内しようと思っていた。
質問が出たのでお答えします。

給食費の無償化についても市長の公約の中にあり、実際に無償化するのは令和7年度4月から実施する予定。無償化を進める理由については、少子化対策であり、給食費の無償化を行うことで子育て世代が安心して暮らせる環境づくりを進めるためである。今まで、給食費については、令和2年12月から保護者負担額の3割軽減を行い、令和5年4月から5割軽減、令和6年4月から約6割軽減を行ってきた。国でも給食費の無償化について話が進んでいるため、先行きは分からないが、いずれ国の制度で給食費が無償化されるのではないかと。

無償化に伴い、現在、中野市外から市内の学校に通っている子どもについても、教育委員会の許可を得て市外の学校に通っているということで、軽減対象であり、無償化についても引き続き行っていく予定。また、逆に中野市内から市外の学校へ通学している子どもについては、現在軽減の対象外だが、無償化を行う理由が少子化対策であることから、来年度からは給食の無償化の対象とすることとして、現在、教育委員会で調整を行っている。無償化の対象は、児童・生徒であるため、教職員については対象外となる。

委員：建設予定地が、浸水警戒区域にあるがその辺はどうか。今、給食センターがある場所は浸水の心配がない場所で、これから立てる場所は心配があるので、大丈夫なのか。

事務局：現在建設予定地には保育園があり、近くに新しい保育園の建設が進み、中学校もある。浸水区域とされるが、遊水池等の工事により、今後、浸水する可能性は低いと思われるが、浸水被害が予想される場合は、情報収集など迅速に対応し、安全確保に努めたい。

委員：センターの運営について、予想が付かない感染症や自然災害などがおこった場合の業務継続計画はあるのか。

事務局：作成していない。給食が出せない事態に対応するため、給食センターではレトルトのカレーやシチューを備蓄している。

委員：医療機関では令和9年度を目途に、業務継続計画を作るよう指示があった。病院、介護施設薬局も含めて不測の事態が生じたときにどういう対応をするか、どう患者さんのメンタルケアをするか指導書の作成を厚生労働省から言われた。施設が2つあれば、なんとかカバーできる部分もあるかもしれないが、1つになるとそこに何があったときにどうにもならないのではないかと。レトルトがあっても長くは続かないので、手順書や業務書を使っておかないと右往左往してしまうのではないかと。できれば業務計画などを

策定してもらえれば対応もでき、災害等を想定した訓練をしておくことができると思うので、検討して欲しい。

事務局：ちょうど数日前に県から、災害が起きたときに給食センターを活用するような調査が来た。そういうのにつながるのではないかと思った。

会 長：大事な点をご指摘いただいたと思う。

○質疑・ご意見

なし

閉 会 午後4時05分